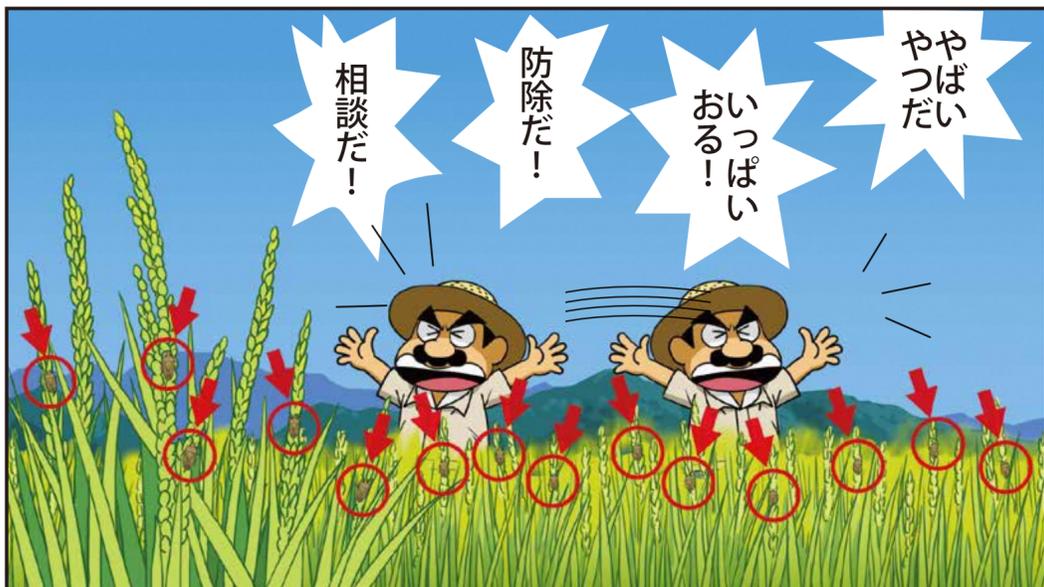


イネカメムシ被害に注意

出穂時期に合わせて防除をしましょう



ご相談はお近くの JA か農業改良普及所へ

イネカメムシとは



近年、関東以西で発生が拡大している斑点米カメムシ類の一種ですが、多発すると減収に繋がるなどより被害が大きいことが特徴です。

鳥取県の発生状況

- ・鳥取県内でも令和6年から広域で確認されています。
- ・西部を中心に多発ほ場が確認されており、東部と中部でも発生が増えています。

イネカメムシの被害と特徴



生態の特徴

- ・イネへの嗜好性が強く、やわらかい稲穂を好む。
- ・イネ科雑草に寄生する個体は少なく、草刈りでは発生を減らせない。
- ・周囲よりも出穂が早い、もしくは遅いほ場では、集中して発生しやすい。
- ・早生～晩生品種が混在する地域では発生量が増加しやすい。

防除の考え方(農薬での防除が効果的)

- ・不稔による減収を防ぐためには出穂期～出穂直後、斑点米防止のためには出穂7～10日後の防除が効果的です。
- ・多発地域では出穂期～出穂直後の防除が非常に重要です。少発地域では出穂前後の慣行本田防除を徹底しましょう。

イネカメムシ情報はこちら

鳥取県病害虫防除所 HP
<https://www.pref.tottori.lg.jp/boujosyo/>



鳥取県産米改良協会
コメ高温障害対策研究会 (県庁生産振興課)
鳥取県病害虫防除所